

H29.11.30 成年後見セミナー i n 南魚沼 アンケート結果

★集計日：12月13日

1. 今回のセミナーの基調講演の内容は、理解できましたか。

- | | |
|------------|-----|
| ①大変よく理解できた | 39名 |
| ②まあまあ理解できた | 41名 |
| ③難しかった | 5名 |
| 無回答 | 1名 |

2. 今回のセミナーの南魚沼市の現状と今後については、理解できましたか。

- | | |
|------------|-----|
| ①大変よく理解できた | 47名 |
| ②まあまあ理解できた | 37名 |
| ③難しかった | 1名 |
| 無回答 | 1名 |

3. 今回のセミナーの実践報告の内容は、理解できましたか。

- | | |
|------------|-----|
| ①大変よく理解できた | 47名 |
| ②まあまあ理解できた | 31名 |
| ③難しかった | 2名 |
| 無回答 | 6名 |

4. 実践報告で参考になった内容をお書きください。

①障害者相談支援センター 南雲様

- ・ケースを通し、成年後見の導入と効果・連携を理解できました。
- ・後見人だけでなく、チームで支援していくことの大切さ
- ・疑問点を解決に向かう事例を聞いて後見人の重要性を感じました。
- ・支援者の専門的相談窓口の必要性
- ・困難事例もチームで関わることにより、良い方向へ進む
- ・一人で動くのは大変だが、支援チームで動くことでスムーズに行くこともある。ということで、まず相談してみようと思った。
- ・後見人で、司法書士、社会福祉士がなっていたが、主にそのような職業の方がなられているのでしょうか？

- ・関係機関、親族との連携がすばらしい。長い間粘り強く対応した結果、素晴らしい効果が得られている事。
- ・私の弟が、現在母 93 歳、弟 64 歳、妻 59 歳の 3 人暮らし、子供ナシ。最後が心配です。親族がいますが。
- ・依頼関係の築き方、地域の力を生かす事（チームで関わる事）、困難ケースととらえず、その人の意向を大切に支援する事などケアマネの関わりと通じる部分が多いと感じました。
↑（設問①～③まとめたの回答）
- ・事例についての成年後見制度の話でしたので、分かりやすくて大変良かったです。
- ・事例がありまあまあ分かりやすかった。
- ・以前親族一家を一斉見守っていたので我が身としてわかりやすかったし、もっと後見人の巾を利用しやすいようになったらいいなあと感じました。
- ・一人で動かずチームで動くことが肝心。
- ・一人で動く大変だけど、チームで動くことで負担が減り、制度利用につながられる。
- ・後見人決定後の生活の変化から後見人の必要性が感じられた。
- ・成年後見制度につながるまでに、関わりのある人や部署のチームができていた方がスムーズにすすむのかなと思いました。
- ・申立てに係る労力、その成果。後見人を含めた（二字不明、適期？）カンファレンス。
- ・支援者ももっと制度の理解をしていかなくてはいけないと思いました。
- ・障がい者の成年後見制度利用について、具体的事例によりよく分かった。
- ・チームで関わることで本人の生活改善につながる。
- ・今後の課題について重要性が理解出来た。チームでの支援も重要ということ。
- ・障がい者の様態。（どのような実際問題があるのか）
- ・チーム単位で動く事。
- ・具体的な事例を挙げて頂き、わかりやすかったです。

- ・ 支援の経過がイメージしやすかった。
- ・ 親族関係を普段から把握することと、支援チームで動く必要性を感じた。
- ・ 申立人を誰がするのかお願いするのは大変なことだと思いました。
- ・ ほとんど交流がなかったおじが申立人を引き受けてくれたことにより、成年後見につながったこと。
- ・ チーム支援が継続し、その中に後見人をうまく取り組んでいるところ
- ・ 事例を通して感じた課題
- ・ 行政、センター、申立人とそれぞれ役割を決め申し立てを行ったこと
- ・ 具体例を挙げての報告、説明
- ・ 同時に母子の後見人申し立てを行った点は、事務の効率化のために大いに役立つと思います。申し立てに必要な書類を準備するだけでかなりのエネルギーを費やすのでハードルがかなり高いと思います。
- ・ 同時に母娘の後見人を申し立てを行った点は、事務の効率化のために大いに役立つと思います。申し立てに必要な書類の準備をするだけでかなりのエネルギーを費やすのでハードルがかなり高いと思います。
- ・ ニーズのキャッチと支援チームの協力・連携
- ・ チーム支援が大切。役割分担。
- ・ 制度に関わる人の制度理解が必要だと思いました。
- ・ 日々の支援の中で、ニーズを見つける。
- ・ 本人から制度を利用するための理解を引き出すこと
- ・ 相談支援センターの業務内容について詳しく知らなかったので、知ることが出来て良かった。事例についても具体的な流れがわかって良かった。
- ・ チームでの連携も重要であること
- ・ 具体例参考になりました

- ・「成年後見制度に対する期待」が不用の制度も作ってほしいが。

②すうぷ社会福祉士事務所 高橋様

- ・アドボカシーの姿勢・視点に尊敬です。専門業務（SW）だからこそその良い後見実践、サイコーです。
- ・金銭状況の改善が、本人の精神面の自立・改善にもつながること
- ・本人の意志をくむことで支援が良くなるということの実践報告で学ぶことができた。
- ・本人が望む暮らしを考える。地域の合った仕組
- ・その方の訴えを肯定的にとらえる
- ・フリーランスでやっていることがすごいと思った。本人の望む暮らし、周囲が考える暮らしの違いのバランスもとりながら、本人らしく生きていける方法をみんなで考えていける仕組みづくりの必要性
- ・具体的な介入、支援
- ・フリーランスの後見人がいらしたことに驚いた。現代は親や兄弟など親族ばかりが動かなくてはならない時ではないと分かった。（親族がついている事がかえって良くないケースをみてきたので）
- ・本人の利益を中心に粘り強く対応したこと。一個人として奮闘して、結果を出している事。
- ・障害者で親族がない方に寄り添った後見人制度は、今後受任してくれる人が多く必要かと思えます。
- ・フリーランスがあることを初めて知りました。すごい事だと思います。頑張ってください。
- ・高橋さんも事例をあげての話でしたので、分かりやすかったです。成年後見人の苦勞が良く分かりました。
- ・制度の理解がもう少しできれば良かった。
- ・とてもわかりやすく、現在ボランティアをしているのでその中で参考になった。
- ・支援をする対象者は制度を受ける当事者だけじゃない。
- ・後見人は本人の代弁者、交際相手のとらえ方をプラスに考える。

- ・本人の代弁者であること、その為には関係づくり、アセスメントが重要となること。
- ・もしも成年後見人になったら？どんなことをするのか具体的なイメージがわきました。
- ・金銭管理の工夫の仕方、支援の方向性を見極め方、本人の代弁と望む暮らしの実現の仕方。
- ・本人の代弁者として本人の意向をくみながらよりよい生活を送っていく事ができるように支援していく。
- ・成功事例の紹介であった。今後の課題や期待することが見えた。
- ・成年後見人＝本人の意向の代弁者。
- ・個人受託。
- ・本人の意向を汲み取りながらの支援。
- ・本人の理想の生活をふまえた支援策。
- ・本人の意思を時間をかけて確認する事。
- ・本人の意向を中心とした支援は、とても素晴らしいと思いました。なかなか、実務の中でそう捉えるのは難しいので。
- ・一人でケースを抱える大変さ、地域性による課題など気付くことができた。
- ・本人の代弁者となり、本人の意向を尊重して行けた事に驚いた。最善の（二字不明、支援？）をチームで支援することの必要性を感じた。
- ・手帳を使って自分の気持ちを伝えられるようになったこと、すばらしいと思いました。
- ・本人の意向に添った支援がより良い方向へ向かわせること。
- ・本人の代弁者としての機能を最優先する志に感銘を受けました
- ・成年後見制度は本人の利益になる制度。本人の意向に適した支援をする
- ・支援効果（生活の変化、心情変化）
- ・報酬が本人の財産から支給されるということになると、専門職が後見人になると営利がからみ高財産の後見人を受けることになりませんか。

- ・本人が望む暮らしを後見人が代弁者として支援することで信頼関係が生まれる。生活の変化につながっていく（財産管理が禁止されることで）
- ・後見人との信頼関係が大切。
- ・成年後見人制度の課題や人手不足なのがとても頭に残りました。
- ・後見人が本人の代弁者となる。
- ・地域に合った、地域の仕組みを作ること
- ・被後見人に対し粘り強く対応しているところ
- ・具体的な事例から、実際の支援の流れまでわかりやすい説明で良かったです。
- ・報償は一年後。
- ・その人らしさを尊重した目標を立て、それに向かっていくこと
- ・個人で開業されたパイオニア、素晴らしい！
- ・泥臭い話が良かった。裁判所に意見提案は素晴らしい。

③柏崎市社会福祉協議会 大塚様

- ・法人後見と社協の力のスゴさ、驚きです。BK が社協に後見の相談をすすめるとはスタッフ（社協）の力量がすごいです。
- ・成年後見制度はまだまだ未完成の制度であり、より利用しやすい制度にしていくためにも、後見の現場から声をあげていく必要があるということ。
- ・銀行等など社会資源を利用してアウトリーチを心掛けているな、すごいなと思いました。
- ・ワンストップの支援、裁判所の利用、金融機関との打合せ
- ・ポジティブに物事を考える
- ・現場で困っていることを、裁判所に訴え、制度もいい方向へ変えていくことができたらしいと思った。まずは社協へ相談していくことも。
- ・タイムリーな利用が出来ることの大切さが分かった。入院の保証人になる位には、なって欲しい制度だと思った。

- ・とにかく粘り強くチームプレイで対応したこと。大変なケースこそチャンスであると思い対応していること。
- ・身寄りの無い人が、今後増えてくるかと思います。この制度を利用しなければならないでしょう。
- ・大塚の話も分かりやすく良かったです。法人後見人制度のむずかしさも良く分かりました。
- ・けっこう早口でしたが、最後は大変じゃなくチャンスという言葉、大変感激します。
- ・体験したことと同じ状況であったことなど参考になった。業務内容を含めわかりやすい説明でした。
- ・大変なケースはチャンス。
- ・使いにくい制度を変えていく働きが必要。
- ・ワンストップで支援できる。制度を知らないことが一番のハードル。
- ・ニーズをキャッチする為の行動、制度などの現状をそういうものだととどめない。
- ・どんな入口から成年後見制度につながっていくのか、どこに相談すればいいのかわかって安心しました。
- ・法人後見の実情、先駆的な地域の状況。
- ・大変なケースは受けたくないなあと思ってしまいがちですが、ステップアップのチャンスと考えているという言葉が印象的でした。
- ・大変はチャンス。
- ・丁寧に関わっていくことで、本人の意向や方向性が見えてくる。
- ・本人の意向を汲み取りながらの支援。
- ・被後見人とのねばり強い関係づくり。
- ・支援が必要な方との距離を縮める為の工夫、ポジティブなとらえ方。
- ・困難事例はステップアップ…たまに上司から同様のことを言われますが、素直に受けとれない時もあります。大塚様のような精神を保つよう頑張っていきたいと思います。

- ・申立ての際の社協の役割、ポジティブなとらえ方。
- ・「大変はチャンス」と聞き、担当の人が後見人必要性を感じた。
- ・大変と最初から考え取り組むより、チャンスというのは良いと思いました。
- ・コミュニケーションがとれないと思っていた方とねばり強く支援していくうちに普通にコミュニケーションがとれるようになったこと。信頼関係を築くこと。
- ・法人後見のめざす姿のお手本のよう。背伸びせず必要だからするの発想がシンプルかつとても大切だと教えられました。南魚沼のお手本です。
- ・現場感覚
- ・成年後見人が身元保証人になれないが、家庭裁判所へ相談することもできる
- ・大変なケースはチャンス
- ・本人の意向が聞けないケースについて、情報の集め方については参考になりました。
- ・法人後見について。金融機関との連携の実際。
- ・後見人はキーパーソン。後見人に任せきりでは×。
- ・社会福祉協議会が何をしているのかわかりやすかったです。
- ・大変はチャンス
- ・金融機関からの顧客に社協を紹介してもらう
- ・被成年後見人の気持ち、考えをうまく引き出すところ
- ・法人後見の実施
- ・社協の取り組みについて具体的にお話頂き良かったです
- ・団体で後見人になれると分かった
- ・金融機関との情報交換していることは参考になりました。なるほど！って。社会資源ですね。
- ・
- ・具体例参考になりました。

- ・“相談を断ったら相談者の次がない”との思いはすごい。

5. その他ご意見・ご感想をご記入下さい。

- ・少しは現場が分かったような気がします。
- ・実践・データをまじえたシンポ、セミナー、学び（分かり）やすかったです。
- ・貴重なお話をきかせていただきありがとうございました。
- ・障がいをお持ちの方に対する支援方法の一つとして参考にいたします。
- ・事例発表が非常に参考になりました。経験が豊かで福祉に対する積極姿勢が素晴らしかった
- ・70代女性です。自分も娘が知的・精神障害があるので、いずれは成年後見制度を利用するようになるのかなと感じています。
- ・実践事例が大変分かりやすく、南魚沼市の資源の少なさもわかりました。大変良かったです。
- ・実践報告の3名の方の内容で多職種で関わり、時間も掛かり、大変だけれど必要とする方がたくさんいる事を知る機会になった。
- ・まだまだ課題があることも知ることができた。それも含めて知ることができて良かった。
- ・難しい用語もなく、とても分かりやすかったです。
- ・後見制度について、殆ど知らなかったが、必要性が良く分かった。
- ・大変な苦勞の中で実践されたことが分かり、感謝感謝しかありません。
- ・もう一度といわず何回かセミナーを企画していただき参加したいと思いました。生活保護受給者で身寄りの無い人の場合はどうなるのかと次回の質問とします。
- ・今後ますます必要性が高まってくると思います。制度について学び、必要な人に説明できる力をつけていきたいと思います。
- ・実践報告の3名の話を書き聞いたら、成年後見制度が良く分かりました。成年後見制度を頼むには申立人が必要なこともしりました。将来利用することになると思いますので、参考になりました。
- ・まだまだ理解ができない部分もあり、また次回のセミナー開催願います。
- ・成年後見の仕事、月に1回は面会、何かあったらかけつけるなど、大変な仕事だと思いました。

- ・具体的な内容で良かった。
- ・自分の両親が高齢になり二人暮らしの両親に今後困ったことが起こったらどうしたらいいのか…という、個人的な関心から参加しましたが、個人的な問題ではなく、今後まだ変わっていく可能性も含めて、良く知っておかなければいけない事だと思いました。参加して良かったです。制度について両親とも話してみたいです。
- ・第三者後見人が不足している中、必要性を実感しながらもなかなか受任への一歩を踏み出せずにいます。本日のセミナーに参加して、改めて何ができるのかまた考えていきたいと思えます。(ぱあとなあに登録しています)
- ・地域全体で関わっていくことの大切さが分かりました。様々な方面から支援が必要な方はたくさんいらっしゃるのだと思いました。
- ・制度自体の課題等、利用方法の簡略化について今後も検討が必要と感じた。
- ・この制度が非常に関心が高いものである事がよく判りました。住民の皆さんにも出来るだけ細かく周知出来るよう、努力したいと感じました。大変有意義なセミナー、ありがとうございました。
- ・マイクの音がこもっており、聞き取りにくかった。広い会場なので後ろまで声が通るか確認してほしい。
- ・その人らしい生活ができる様に後見人制度が必要と思った。
- ・大変勉強になりありがとうございました。お疲れ様でした。
- ・数字を使っただけの説明は良かったです。
- ・かつて高齢者福祉行政に関わったことがあります、そのころに比べてずいぶんすすんでいるという印象です。
- ・基本的なことから話していただいてよかった。かなり思いちがいをしていたことがわかったので。
- ・大変勉強になりました。セミナー開催ありがとうございました。
- ・法人後見、市民後見人について教わりたかったんですが、その点残念です。
- ・「後見人は身元引受人になれない」課題についてももう少し聞きたかったです。

- ・有資格者だけでなく、親族後見の当事者などの話を聞く機会があると率直な話も出てきてより身近な話になるかと思いました。⇒高橋愛さんの実情報告は興味深かった
- ・後見人制度は、本人の権利を守ることを第一にしているため本人に対してはとても優しく出来ていますが、後見人になろうとする人には厳しい制約があります。多くの方はボランティアでかかわろうと思っているのですが、これでは意欲が低下するし、制度自体の広がりに水をさすのではと思います。
- ・申し立てに必要な書類は自力で何とか整えましたが、負担が大きかったです。裁判所から書類を頂いた後のサポートがあるとありがたいと思います。どこで相談を受けてくれるのかさえ分かりませんでした。
- ・業務上、直接この制度に関係することはないと思うのですが「ニーズのキャッチ」の面で関係することができればと思いました。大変勉強になりました。ありがとうございました。
- ・成年後見人について何も知らない状態でしたが、分かりやすい説明と具体的な事例報告で、帰ってからまた資料を見返したいと思います。
- ・今度は実践報告を資料を添えてもっと多く発表してほしい
- ・成年後見が、本人が望む生活を送ることが出来るように、後見人、周囲と一丸となって協力して行けると、より良く機能すると理解できた。
- ・一度後見人を受任した場合、被後見人が亡くなるまで任が解けない負担をどうするか、大変である。
- ・成年後見について全くと言ってよいほど知識がなかったので、基本的な部分の講演が聴けて良かったです。今後も成年後見についての知識を高めて行きたいです。
- ・会場を暗くしなくても画面は見えるので、会場は常に明るくしてほしい。暗いとメモしにくい。
- ・老人の印鑑登録、実印の管理、マイナンバーカードの管理に福祉課の人から保証人になってほしい（使っている人か否か分からない）。そうしないと、同居の子どもが勝手に作って使って、不動産を処分して困る。事件になってからでは遅い、相談に行ってもこっちではわからない、と言われると対応できない。
- ・自分自身、介護の現場で働いているが、身近に感じておらず今回大変勉強になりました。
- ・全体を通して難しかった。包括・相談支援センター・社協さんチームとして支援していることに思いをした。

・後見人に対する認識が少しではあるが、理解できた。

・良いことばかりでなく、後見人が逆伝されて家族と施設で困ったことも案内してほしかった。